

Bibliographic data Seed= JP2002203117

Epoque PN JP2002203117 20020719
Epoque AN JP20000400064 20001228
Priority JP20000400064 20001228

• Classifications: IPC: G06F17/60; G06F12/00; G06F13/00; G06F17/30; H04N5/93;
H04N7/173

 CI: G06F12/00; G06F13/00; G06F17/30; H04N5/93; H04N7/173

 AI: G06F12/00; G06F13/00; G06F17/30; H04N5/93; H04N7/173

• Applicant: TAJIMA YOSHIYUKI

• Inventors: TAJIMA YOSHIYUKI

• Titles : TI: SYSTEM AND METHOD FOR DISTRIBUTING BOOK CONTENT

• Abstract PROBLEM TO BE SOLVED: To make a book content including data such as a voice, an image and a character freely distributed bidirectionally by the Internet or the like, and to allow a user to easily change and re-edit a content of the book content. SOLUTION: A server 1 has an input control means 2 for analyzing the transmitted book content to generate a content regeneration file, a book content regeneration information file holding means 3, a main content storage means 4 for storing the book content of high volume data, a low volume data conversion means 6 for compression-processing the high volume data, and a light content storage means 5 for storing the book content of low volume data.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-203117

(P2002-203117A)

(43) 公開日 平成14年7月19日 (2002.7.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 E 5 B 0 7 5
	1 4 2		1 4 2 5 B 0 8 2
12/00	5 4 5	12/00	5 4 5 M 5 C 0 5 3
13/00	5 2 0	13/00	5 2 0 A 5 C 0 6 4
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-400064(P2000-400064)

(22) 出願日 平成12年12月28日 (2000.12.28)

(71) 出願人 501004442

田島 義行

東京都千代田区三崎町1-1-13

(72) 発明者 田島 義行

東京都千代田区三崎町1-1-13

(74) 代理人 100078259

弁理士 西野 茂美

Fターム(参考) 5B075 ND16 NR16

5B082 GA01 HA05

5C053 FA28 GA11 GA18 GB05 GB21

HA33 JA03 JA21 LA11 LA15

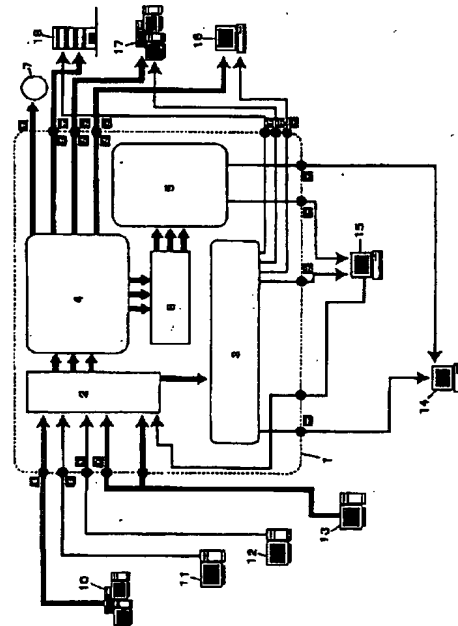
5C064 BA01 BC18 BC25 BD02 BD09

(54) 【発明の名称】 著作物コンテンツの配信システム及び配信方法

(57) 【要約】

【課題】 インターネット等で音声、画像、文字などのデータを含む著作物コンテンツを双方向に自在に配信することができ、ユーザはこの著作物コンテンツの内容を簡単に変更・再編集することができるようにする。

【解決手段】 サーバ1には、送信された著作物コンテンツを解析してコンテンツ再生情報ファイルを生成する入力制御手段2と、前記コンテンツ再生情報ファイル保存手段3と、高容量データの著作物コンテンツを保存するメインコンテンツ保存手段4と、高容量データを圧縮処理する低容量データ変換手段6と、この低容量データの著作物コンテンツを保存するライトコンテンツ保存手段5を有している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】端末ネットワークを利用して、著作物ファイルを含む著作物コンテンツをユーザが送受信できるようにした著作物コンテンツの配信システムであって、ユーザから送信された著作物コンテンツに固有情報を付与するとともに、該著作物コンテンツに含まれる著作物ファイルを解析して、該著作物コンテンツを再生させるために必要な情報ファイルを生成する入力制御手段と、前記コンテンツ再生情報ファイルを保存し、ユーザの要求に応じて、該コンテンツ再生情報ファイルを前記著作物コンテンツから独立させて配信することができるコンテンツ再生情報ファイル保存手段と、ユーザから送信された前記著作物コンテンツを、前記コンテンツ再生情報ファイル生成手段を介して高容量データで保存し、ユーザの要求に応じて、該高容量データの著作物コンテンツを配信するメインコンテンツ保存手段と、前記メインコンテンツ保存手段の高容量データを低容量データに変換する低容量データ変換手段と、前記低容量データ変換手段により変換された低容量データの著作物コンテンツを保存し、ユーザの要求に応じて、該低容量データの著作物コンテンツを配信するライトコンテンツ保存手段、を有する著作物コンテンツの配信システム。

【請求項 2】前記著作物コンテンツは、画像ファイル、音声ファイル、文字ファイルの 1 又は複数のファイルを含んでいることを特徴とする請求項 1 に記載の著作物コンテンツの配信システム。

【請求項 3】前記コンテンツ再生情報ファイルは、該著作物コンテンツの再生情報をユーザが変更して配信できるようにしたテキスト情報ファイルであることを特徴とする請求項 1 に記載の著作物コンテンツの配信システム。

【請求項 4】端末ネットワークを利用して、著作物ファイルを含む著作物コンテンツをユーザが送受信できるようにした著作物コンテンツの配信方法であって、ユーザから送信された著作物コンテンツを受信し、該著作物コンテンツに含まれる著作物ファイルを解析して、該著作物の固有情報を含むコンテンツ再生情報ファイルを生成するとともに、該コンテンツ再生情報ファイルを保存するステップと、前記著作物コンテンツを、前記コンテンツ再生情報ファイル生成手段を介して高容量データで保存するステップと、

前記高容量データを低容量データに変換するとともに、該低容量データを保存するステップを有しており、ユーザの要求に応じて、前記コンテンツ再生情報ファイルを前記著作物コンテンツから独立させて配信するとともに、前記コンテンツ再生情報ファイルに記録された再生情報に従って、前記高容量データ又は前記低容量デ

ータを配信することを特徴とする著作物コンテンツの配信方法。

【請求項 5】ユーザが受信した前記コンテンツ再生情報ファイルの再生情報を、該ユーザが変更して配信することを特徴とする請求項 4 に記載の著作物コンテンツの配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像、音声、文字（文章）等のデータファイルを含む著作物コンテンツを、インターネット等を介して短時間で配信することができ、ユーザが、その著作物コンテンツの再生情報を自在に変更することができる著作物コンテンツの配信システム及び配信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットなどのコンピュータネットワークを介して、音楽などを配信するシステムが従来から知られている。しかしながら、この音楽配信システムは、単にユーザが希望する音楽データを取得するだけの一方配信システムであり、ユーザが作製したオリジナルの音楽を配信することはできない。

【0003】また、最近では例えばカラオケ配信にみられるように、音楽だけではなく、画像、文字等の視覚的情報を組み合わせる配信することが多くなっている。しかしながら、従来の配信システムは、音楽データと画像データが一体となっており、ユーザが任意の画像データ等を合成したり、音楽データと画像データを任意に組み合わせる再編集するようなことはできない。

【0004】また、主として業務用に使われている高品質の音楽データや映像データは、データが大容量であるため、インターネットにより通常の（低速の）通信回線を使用して受信すると、配信時間が長時間となり能率が悪く、通信コストが高額になるなどの問題がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようとする課題は、インターネットなどの端末ネットワーク上で、音声、画像、文字などのデータファイルを含む著作物コンテンツを双方向に自在に配信することができ、しかもユーザがこれらの著作物コンテンツの内容を簡単に変更、再編集することができる著作物コンテンツの配信システム及び配信方法を提供することである。

【0006】また本発明は、ユーザの選択により、前記著作物コンテンツを短時間に配信することができる著作物コンテンツの配信システム及び配信方法を提供することである。

【0007】さらに本発明は、保存された著作物コンテンツの著作権管理、利用状況の管理などを、一元的に行なうことができる著作物コンテンツの配信システム及び配信方法を提供することである。

【0008】

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するため、本発明は著作物ファイルを含む著作物コンテンツと、該著作物コンテンツの再生情報を、端末ネットワークを利用して別々に配信できるようにしている。

【0009】このため、本発明の著作物コンテンツ配信システムは、ユーザから送信された著作物コンテンツに固有情報を付与するとともに、該著作物コンテンツに含まれる著作物ファイルを解析して、該著作物コンテンツを再生させるために必要な情報ファイルを生成する入力制御手段と、前記コンテンツ再生情報ファイルを保存し、ユーザの要求に応じて、該コンテンツ再生情報ファイルを前記著作物コンテンツから独立させて配信することができるコンテンツ再生情報ファイル保存手段と、ユーザから送信された前記著作物コンテンツを、前記コンテンツ再生情報ファイル生成手段を介して高容量データで保存し、ユーザの要求に応じて、該高容量データの著作物コンテンツを配信するメインコンテンツ保存手段と、前記メインコンテンツ保存手段の高容量データを低容量データに変換する低容量データ変換手段と、前記低容量データ変換手段により変換された低容量データの著作物コンテンツを保存し、ユーザの要求に応じて、該低容量データの著作物コンテンツを配信するライトコンテンツ保存手段、を有していることを特徴としている。

【0010】また、本発明の著作物コンテンツ配信方法は、ユーザから送信された著作物コンテンツを受信し、該著作物コンテンツに含まれる著作物ファイルを解析して、該著作物の固有情報を含むコンテンツ再生情報ファイルを生成するとともに、該コンテンツ再生情報ファイルを保存するステップと、前記著作物コンテンツを、前記コンテンツ再生情報ファイル生成手段を介して高容量データで保存するステップと、前記高容量データを圧縮処理して低容量データに変換するとともに、該低容量データを保存するステップを有しており、ユーザの要求に応じて、前記コンテンツ再生情報ファイルを前記著作物コンテンツから独立させて配信するとともに、前記コンテンツ再生情報ファイルに記録された再生情報に従って、前記高容量データ又は前記低容量データを配信することを特徴としている。

【0011】本発明が実行される端末ネットワークの代表はインターネットであるが、そのほかにも専用通信回路を利用した通信ネットワークであってもよい。ユーザが使用する端末は、パーソナルコンピュータのほか、家庭用ゲーム機、携帯電話、高性能ワークステーションなど端末ネットワークにアクセスできる機能を持つものであればよい。

【0012】本発明の「著作物コンテンツ」とは、1または2以上の著作物ファイルの集合体である。著作物ファイルとは、著作権法上の著作物にとらわれるものではないが、製作者が所定の目的を持って製作した動画、静止画等の画像ファイル、音楽、環境音（川のせせらぎ、

鳥の声等）などの音声ファイル、小説、詩などの文字ファイル（テキストファイル）などである。

【0013】「コンテンツ再生情報ファイル」とは、前記著作物コンテンツの固有情報が記録され、該コンテンツを再生するために必要な情報を記録したファイル（ここではテキスト情報ファイル）であり、コンテンツに付与されたID（識別子）、ファイル名、ファイルを再生させる順序、タイミング、再生時間、再生ソフト、著作権者、著作料、マーケティングデータなどの各種の情報が記録されている。このコンテンツ再生情報ファイルは、ユーザが専用ソフトを使用することにより、内容を変更したり、再編集したり、あるいはオリジナルのファイルを作成することができる。

【0014】なお、コンテンツ再生情報ファイルは、以下、便宜上、PIF（Play Information File）と省略する。

【0015】「高容量データ」とは、データ密度の高い、高品位の画像データ、音声データなどであり（オリジナルデータ）、「低容量データ」とは、高容量データをデータ圧縮処理等によりデータ密度を低下させたデータである。データを軽量化する方法はそのファイルの種類や特性により異なる。

【0016】低容量データは高容量データに比べ、解像度やサンプル周波数、ビットレートなどが低くなっており、より高い比率で圧縮されている。このため、例えば画像データは画質が劣り、音声データは音質が劣っているが、内容は高容量データのものと同じであり、多くの場合、ユーザは低容量データの著作物コンテンツで楽しむことができる。

【0017】本発明の著作物コンテンツ配信システムは、ユーザが製作した高容量データの著作物コンテンツがサーバにアップロードされ、自動的に低容量データの著作物コンテンツとPIFが生成される。したがって、サーバには同一内容の高容量データと低容量データが保存され、また該著作物コンテンツに対応したPIFが保存される。

【0018】前記PIFは単独でサーバからダウンロードまたはアップロードすることができる。またユーザは、端末ネットワークの接続環境に応じ、例えば低速通信回路の場合は低容量データ著作物コンテンツを選択し、高速通信回路の場合は高容量データ著作物コンテンツをダウンロードすることができる。

【0019】本発明の配信システムを利用するユーザは、著作物コンテンツのファイルに比べてデータ容量の軽いPIFをサーバから受信することにより、著作物コンテンツを簡単に再生することができる。すなわち、PIFには著作物コンテンツを再生するために必要な情報が含まれているため、ユーザの希望に応じて高容量データ著作物コンテンツまたは低容量データ著作物コンテンツのいずれかを選択し、または両コンテンツを混在させた

状態で、自動的にサーバからインターネット経由でダウンロードし、PIFに記録された手順に従って再生することができる。

【0020】また、リアルタイムのストリーム配信でその著作物コンテンツを取得してもよく、さらには、高容量データ著作物コンテンツの内容をDVDやCD-ROMなどの記録媒体に保存したパッケージ製品を入手してもよい。すでにユーザがダウンロード等により、著作物コンテンツ、もしくはそこに含まれているファイルを所有している場合は、PIFだけをダウンロードすること

【0021】また、ユーザはPIF再生・編集用の専用ソフトを使用して、ダウンロードしたPIFに任意の著作物コンテンツを合成し、ユーザ自身が楽しむことができ、また内容を変更したPIFをサーバにアップロードし、他のユーザに配信することもできる。さらに、PIFにより高容量データと低容量データを混在させた状態で再生することができるため、例えばPIF再生・編集用の専用ソフトを使用し、低容量データで編集したコンテンツを、別のユーザが高容量データで再生することも

【0022】なお、前記PIF再生・編集用専用ソフトは、ダウンロードした著作物コンテンツまたはファイルのリストを検索表示する機能、必要な著作物コンテンツまたはファイルをサーバからダウンロードする機能、著作物コンテンツまたはファイルの再生ソフトを選択して再生する機能、著作物コンテンツまたはファイルの合成や再生順序の並び替え等を再生トラック上で行なう機能などを有している。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を添付図面に従って説明する。図1は本発明のシステム構成図であり、1はインターネットの通信回路と接続されるサーバである。

【0024】サーバ1は、著作物製作者のユーザからアップロードされた著作物コンテンツ（高容量データ）のファイル形式を解析し、必要によりコンテンツIDを付与するとともに、該著作物コンテンツのPIF（コンテンツ再生情報ファイル）を自動的に生成する入力制御手段2と、自動生成されたPIFを保存するPIF保存手段3と、前記高容量データの著作物コンテンツを保存するメインコンテンツ保存手段4と、前記高容量データを圧縮処理等をしてデータ量を軽量化する低容量データ変換手段6と、前記低容量データ変換手段で変換された低容量データの著作物コンテンツを保存するライトコンテンツ保存手段5を有している。

【0025】また、図示していないが本発明のシステム利用者を会員制にする場合には、インターネットを通じてアクセスした会員申込者に、自動的にパスワード、IDなどを付与し、それを保存管理するとともに、サーバ

1にアクセスしてきたユーザのパスワード、IDなどを照合する機能をもつ、ユーザ登録照合手段を有している。

【0026】画像、音声などの著作物の製作者は、その著作物（デジタル化されている）を所定のファイル形式に変換し、1または2以上のファイル群を1つのコンテンツとして、端末によりインターネットを介して前記サーバ1の入力制御手段2にアップロードする。

【0027】図2は、前記入力制御手段2のデータ処理手順を示すフローチャートである。まず、ユーザの端末から、著作物コンテンツのアップロードが開始されると（ステップ30）、アップロードされたファイルがPIFであるか否かが判断され（ステップ31）、PIFの場合はサーバ1のPIF保存手段3にそのファイルが保存された後、データ処理が終了する（ステップ32、46）。

【0028】アップロードされたファイルがPIFでない場合は、そのファイル形式が本システムで使用可能か否かが判断され（ステップ33）、そのファイル形式が使用できないときは、その旨の表示出力指令が出され（ステップ37）、データ処理が終了する（ステップ46）。

【0029】使用可能なファイル形式の場合は、つぎに、そのファイルが納められる著作物コンテンツにIDが付与されているか否かが判断され（ステップ34）、IDが付与されている場合は、さらに既存の著作物コンテンツIDと一致するか否かが判断される（ステップ35）。既存のファイルが存在する場合は、そのファイルのアップロードが無効である旨の表示出力指令が出され（ステップ36）、データ処理が終了する（ステップ46）。

【0030】ステップ34で、著作物コンテンツIDが付与されていないと判断されたときは、所定の規則に従ってIDが算出され（ステップ38）、そのIDが著作物コンテンツに含まれるファイルに書き込まれるとともに、ファイルがメインコンテンツ保存手段4に保存される（ステップ39、40）。また、ステップ35で著作物コンテンツIDが既存のものとは一致していないと判断されたときも、そのファイルがメインコンテンツ保存手段4に保存される（ステップ41）。

【0031】つぎに、メインコンテンツ保存手段4に保存される著作物コンテンツが、PIFを伴っているか否かが判断され（ステップ42）、PIFを伴っているときは著作物コンテンツを受け取った旨の表示出力指令が出され（ステップ45）、データ処理を終了する（ステップ46）。

【0032】また、ステップ42でPIFを伴っていないと判断されたときは、その著作物コンテンツの内容とリンクしたPIFが自動的に生成された後（ステップ43）、PIF保存手段3に保存される（ステップ4

4)。その後、上述と同じように、著作物コンテンツを受け取った旨の表示出力指令が出され(ステップ45)、データ処理を終了する(ステップ46)。

【0033】ステップ43でのPIF自動生成は、例えば著作物製作者がアップロードする際、専用ソフトで、コンテンツのファイルに必要な情報を書き込み、その情報をサーバ1が自動的に解析してPIFを自動生成する方法や、アップロードする際、端末画面に所定事項を入力する表示画面が表示されるようにし、その表示画面にPIF生成に必要な情報を入力し、その情報を受信したサーバ1が自動解析する方法などがあるが、これらの方法に限定されるものではない。

【0034】なお、ステップ42の処理は、ステップ35又はステップ39の処理に引き続いて行ない、メインコンテンツ保存手段4への保存は、ステップ44の後に行なってもよい。

【0035】ステップ43で生成されるPIFはテキスト情報ファイルであり、例えばその著作物のコンテンツ情報、コンテンツ補足情報、PIFの属性情報、その他の情報が書き込まれる。

【0036】コンテンツ情報は、コンテンツID、コンテンツに含まれるファイル名、種類、そのコンテンツの再生タイミング、再生時間等、その著作物コンテンツを再生するために必要な基本的情報である。コンテンツの数は1つ又は複数でもよい。また、そのコンテンツがPIFであってもよい。

【0037】コンテンツ補足情報は、コンテンツに関する付加情報であり、例えば使用するエフェクト、そこに必要なプラグイン・ソフト名、画像と音声の切り換え方法などの情報が含まれる。

【0038】PIFの属性情報は、このPIF情報の属性、例えばこのPIFで再生される種類、作者情報、時間情報、PIFのIDなどである。

【0039】その他の情報には、例えば著作権情報、著作料課金情報、マーケティングデータ収集のために必要な項目情報などが含まれる。

【0040】メインコンテンツ保存手段4に保存された高容量データのファイルは、自動的に低容量データ変換手段6においてデータ圧縮処理され、データ量が軽量化された後、ライトコンテンツ保存手段5に保存される。データ圧縮処理の方法は既存の処理方法でよく、圧縮率は必要により調整することができる。またメインコンテンツ保存手段4に保存された高容量データのファイルは、DVDやCD-ROMなどの記録媒体7に複写してユーザに配布することができる。

【0041】ライトコンテンツ保存手段5に保存されたファイルは、音質、画像解像度等は低下しているが、内容はメインコンテンツ保存手段4に保存されたファイルの内容と同じである。なお、文字ファイル(テキストファイル)は、データ容量が少ないことが多いため、デー

タ量を解析して必要なときだけ圧縮処理をすればよい。

【0042】図3は、低容量データ変換手段6のデータ処理手順を示すフローチャートである。メインコンテンツ保存手段4に、新しい又は変更された著作物コンテンツが保存されると、低容量データ変換手段6は、そのコンテンツに含まれるファイルを読み込み、データ変換処理が開始される(ステップ50)。

【0043】まず、コンテンツのファイルに書き込まれた情報(コードなど)から、そのコンテンツに含まれるファイルに、低容量データに変換されていないものがあるか無いか判断され(ステップ51)、すべてのファイルが低容量データに変換されているときは、データ処理が終了する(ステップ71)。

【0044】低容量データに変換されていないファイルがあるときは、そのファイルの種類、すなわち音声ファイルか、静止画ファイルか、文字ファイル(テキストファイル)かが判断される(ステップ52、53、54)。このフローチャートでは、これらのファイルに属さないファイルは、自動的に動画ファイルと判断されることになる。

【0045】つぎに、ファイルの種類に応じて、所定の規則に従ってデータが圧縮処理される(ステップ55、59、63、67)。つぎに、圧縮前のファイルのIDを複写し、そのIDを圧縮されたファイルに書き込み、さらに低容量データを示す情報を書き加える(ステップ56、60、64、68)。

【0046】その後、変換された低容量データをライトコンテンツ保存手段5に保存し(ステップ57、61、65、69)、変換前のファイルに低容量データ変換済の情報が書き加えられ(ステップ58、62、66、70)、前述のステップ51を経てデータ処理が終了する(ステップ71)。なお、変換前のファイルはメインコンテンツ保存手段4に保存される。

【0047】上述したサーバ1からデータをダウンロードして再生させるためには、端末側にPIFの再生・編集用の専用ソフトが必要になるが、コンテンツをアップロードするためには必ずしもその専用ソフトは必要としない。

【0048】つぎに、上述した著作物配信システムの使用例を説明する。

【0049】まず、サーバ1には、さまざまな分野のユーザから著作物コンテンツがアップロードされる。例えば、端末10からは、レーコード会社、映像配給・製作会社などプロフェッショナルなユーザから、本格的な音声、映像コンテンツやプロモーション用のコンテンツなどが高速通信回路を利用してサーバ1にアップロードされる。

【0050】また、端末11、12からは、個人ユーザが職業的又は趣味的に製作した映像、音声等のコンテンツが、一般(低速)通信回路を利用してアップロードさ

れる。さらに、端末13からは、個人ユーザがP I F再生・編集専用ソフトを使用して作製したオリジナルの著作物コンテンツが、P I Fとともに高速通信回路によりアップロードされる。

【0051】一方、サーバ1に保存されている各種の著作物コンテンツの利用形態としては以下のような例がある。まず、端末14を利用するユーザは、P I F保存手段3から所望のP I Fをダウンロードする（リアルタイム配信でもよい）。端末14にはP I F編集再生用の専用ソフトがインストールされており、この専用ソフトがP I Fを再生するために必要な著作物コンテンツを自動的に選別し、ライトコンテンツ保存手段5から短時間でダウンロードする。これにより、ライトコンテンツの画像、音声等をP I Fの書き込みデータに従って再生することができる。

【0052】また、端末15のユーザは、上述とおなじように、P I F保存手段3とライトコンテンツ保存手段5から所望のP I Fと低容量データの著作物コンテンツをダウンロードするとともに、P I F編集再生専用ソフトを使用して、オリジナルのP I Fを作成し、サーバ1の入力制御手段2にアップロードする例である。

【0053】また、端末16のユーザは、P I F保存手段3からP I Fをダウンロードするとともに、メインコンテンツ保存手段4から高容量データの著作物コンテンツを、高速通信回路を使用してダウンロードし、前記P I F編集再生専用ソフトにより、P I Fの記録情報に従って高品質の画像、音声を再生する例である。

【0054】また、端末17のユーザは、店舗、飲食店、イベント会場などで、端末16と同じようにP I Fと高容量データの著作物コンテンツをダウンロードし、高品質の画像、音声を再生する例であり、端末18は放送局などが、放送用にP I Fと高容量データの著作物コンテンツをダウンロードする例である。いずれの端末17、18もP I F編集・再生専用ソフトがインストールされている。

【0055】メインコンテンツ保存手段4に保存されている高品質のコンテンツは、DVDやCD-ROMなどの記憶媒体7に複写してユーザに配布してもよい。

【0056】図1で、「¥」マークはサーバ1にアップロードまたはダウンロードした際に、ユーザに著作権料、接続手数料などが課金されることを示しており、「デ」マークは、統計収集のためにダウンロード情報などがカウントされることを示している。これら課金システムや統計データ収集システムは既存のシステムを利用することができる。また、図1において太い矢印は高速通信回路を利用する場合、細い矢印は通常の（低速）通信回路を利用する場合を示している。

【0057】本発明のシステムを利用するユーザは、上述した利用例のほか、個人用又は業務用として、高画質データのメインコンテンツと低画質データのライトコ

ンテンツを選択的にダウンロードし、さまざまな形態で著作物コンテンツを利用することができる。

【0058】本発明は、上述のようにP I Fを著作物コンテンツから独立させ、コンピュータネットワークを介して送受信できるようにしているため、以下のような利点が得られる。

【0059】（1）データの種類の画像、音声、文字またはこれらの組み合わせであっても、P I Fという統一ファイルでネットワークを流通させることにより、すべて共通のファイル形式、統一フォーマットとなるため、管理や分類、利用が容易になる。

【0060】（2）P I Fだけの編集などが可能となり、修正、バリエーションの製作などが簡単に行なえる。またP I Fの修正や再編集を行なっても、著作物コンテンツのデータの送受信を行なうことなく、データ量の少ないP I Fの送受信だけで目的が達せられることができる。さらには、P I Fだけをリアルタイム送信によりネットワークに配信することもできる。

【0061】（3）P I Fには、複数の著作物コンテンツや別のP I Fを含めることができるため、複雑な著作物コンテンツ等の組み合わせであっても、単一のP I Fとして取り扱うことができ、ネットワーク配信や整理保存を簡単に行なうことができる。

【0062】

【発明の効果】以上説明した本発明によれば、インターネットなどの端末ネットワーク上で、音声、画像、文字などのデータを含む著作物コンテンツを双方向に自在に配信することができ、しかもユーザがこれらの著作物コンテンツの内容を簡単に変更、再編集することができる。

【0063】また本発明は、ユーザの選択により、前記著作物コンテンツを短時間に送受信することができる。

【0064】さらに本発明は、保存された著作物コンテンツの著作権管理、利用状況の管理などを、一元的に行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の著作物コンテンツ配信システムの全体構成図である。

【図2】本発明のサーバにおける入力制御手段のデータ処理手順を示すフローチャート図である。

【図3】本発明のサーバにおける低容量データ変換手段のデータ処理手順を示すフローチャート図である。

【符号の説明】

1はサーバ

2は入力制御手段

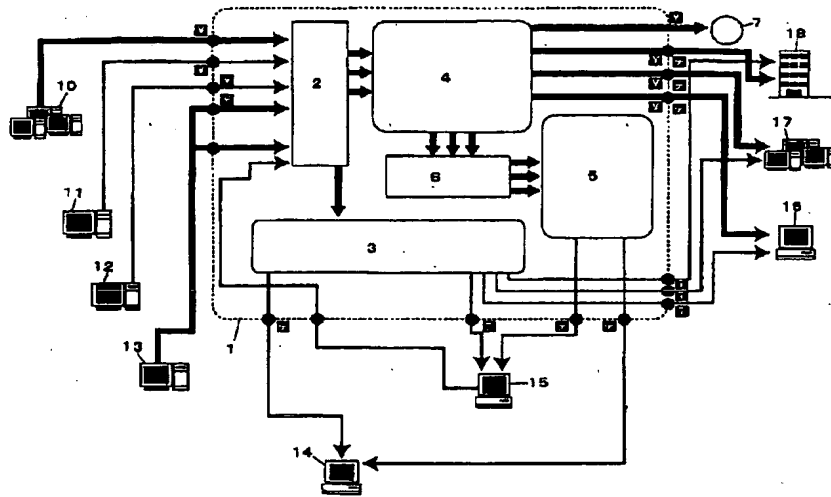
3はP I F保存手段

4はメインコンテンツ保存手段

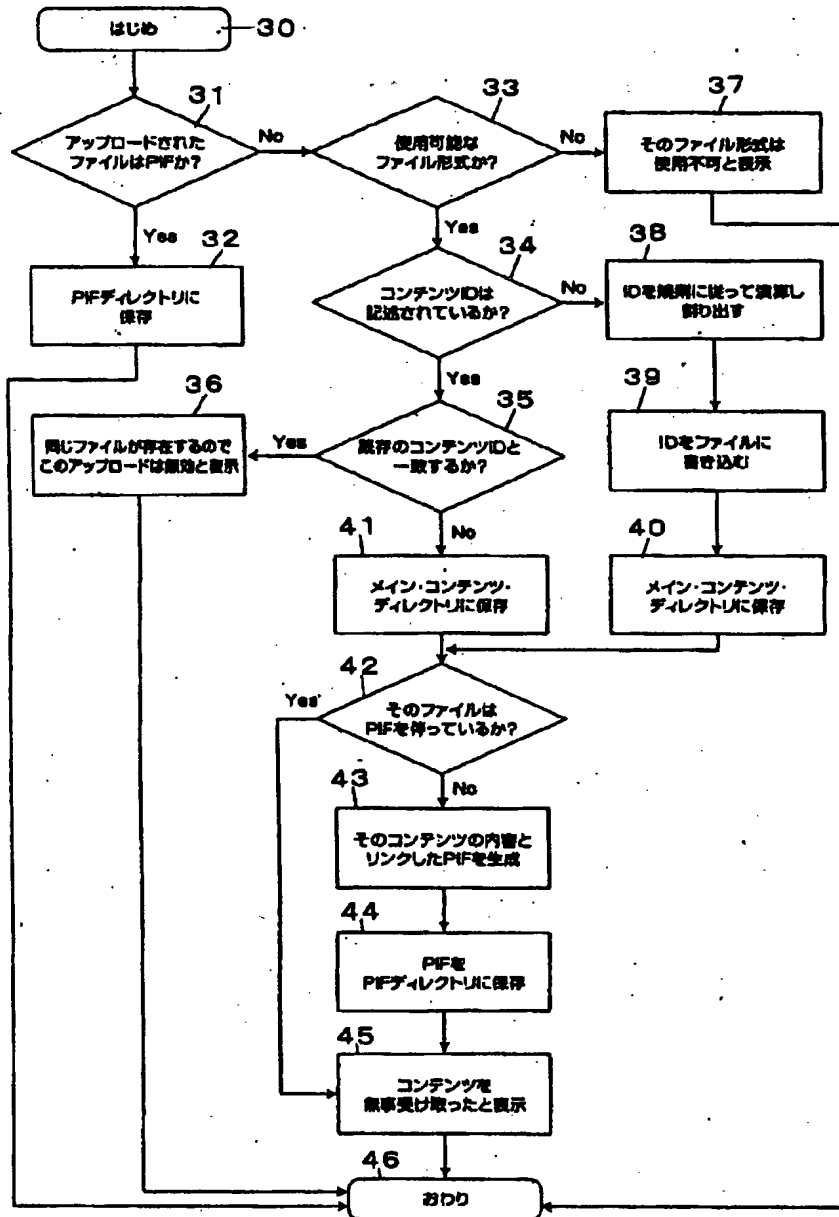
5はライトコンテンツ保存手段

6は低容量データ変換手段

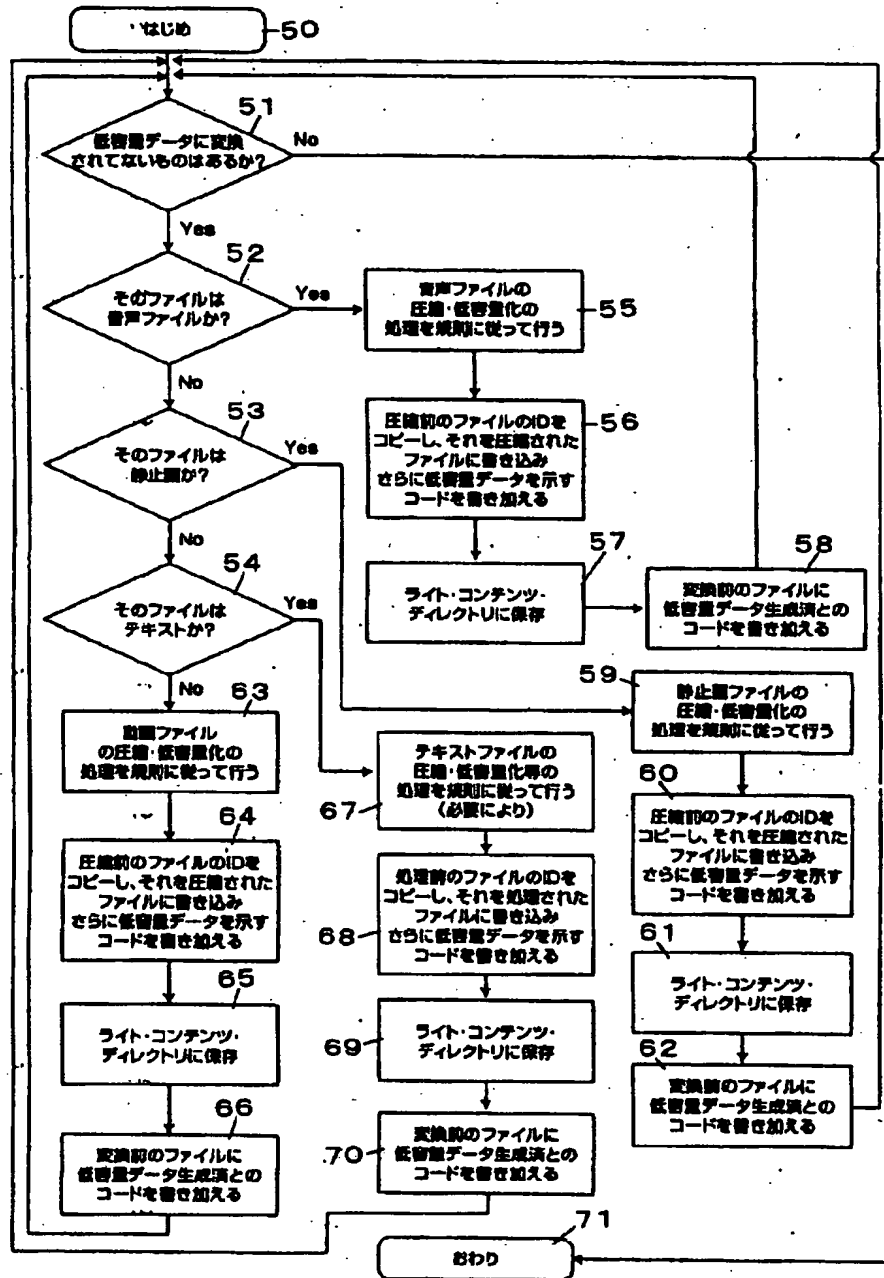
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 0 6 F 17/30	2 3 0	G 0 6 F 17/30	2 3 0 A
H 0 4 N 5/93	6 1 0	H 0 4 N 7/173	6 1 0 A
7/173		5/93	E